

## 逆不等号

娯楽となりさがった「生」が  
身ぶり手ぶりも大げさに  
回転するカセットテープから雄叫びを放ち  
「ああ刺戟を、もっと刺戟を」と身もだえる

人々は立ち止まる恐怖におののき  
ただやみくもに原色へとうろつき回る  
全ては倦まれ  
尽きることなく倦まれ

私は軽々と歩く  
風は快く  
友人たちは暖かく  
おお、安らぎに満ち満ちた毎日

振り返りさえしなければ  
前のめりにさえ生きていれば  
笑い顔でそう言う人の目の中に  
僕は読んでしまった

「斜めに切れば斜めに滑り  
古い香気は引き裂かれ  
歩けるのは狭苦しい現在のみ  
しかも焼けただれた地面

人工的な謎がのさばり返り  
迷いさえも自分で創造せねばならない  
それが未来でしかないのだ  
それが無限というものだ」

(1988.9.)